

大阪情報コンピュータ専門学校 授業シラバス (2024年度)

専門分野区分	デザイン・作画技法	科目名	基礎デザイン					科目コード	D0410B1	
配当期	前期	授業実施形態	通常					単位数	4 単位	
担当教員名	百谷 正則	履修グループ	1I(DM/GD/MD/SD/SL)					授業方法	演習	
実務経験の内容	モード学園出版局(月刊雑誌の編集)大日本クリエイティブアーツ(DTP、印刷のデジタル化) デンタルインターネット(歯科医院向けWebサイト制作)フリーランス(三和エネルギーWebデザイン、RCSWebデザイン)など 約30年の経験に基づきデザイン企画、制作の指導を行う。									
学習一般目標	全てのデザインの基礎となる基本的な構図と構成について学ぶ。 絵の具を混ぜて色を作る、アナログな手法で配色感覚を身に着ける。									
授業の概要および学習上の助言	基礎デザインの授業ではアナログ的手法(手作業)でデザインの基本を練習します。 ペンや絵の具の技術も重要ですが、根気良くていねいに作業に取り組むことはもっと重要です。 また、絵の具を使って色を作る作業は配色感覚を鍛える上で最良の方法の一つです。 単に描くだけ、塗るだけの単純作業に陥らないようにしましょう。									
教科書および参考書	適宜参考資料をプリント・デジタルデータで配布する									
履修に必要な予備知識や技能	日常目に触れるデザインに対し日ごろから興味を持って接すること。 課題テーマに関わる資料等を、各自で日ごろから収集するなどデザインに対する関心を持つこと。									
使用機器	ポスターカラー、透明水彩絵の具、三角定規、筆、水入れ、パレット、色見本、鉛筆、シャープペン、サインペン、練消しゴム、クロッキーブック									
使用ソフト										
学習到達目標	学部DP(番号表記)	学生が到達すべき行動目標								
	1	デザインの技術やデザインの歴史などを理解し覚える								
	2	課題の制作意図・目的について考え、判断しアイデアを出せる								
	3	授業に遅刻・欠席することなく、積極的な態度・姿勢で授業にのぞめる								
	4	良く意図が伝わる、美しい、オリジナリティのある作品作りに取り組んでゆける								
	5	高い関心と意欲を持って取り組み、根気良く丁寧な制作作業ができる								
達成度評価	評価方法	試験	小テスト	レポート	成果発表(口頭・実技)	作品	ポートフォリオ	その他	合計	
	学部DP	1.知識・理解	0	0	0	0	20	0	0	20
		2.思考・判断	0	0	0	0	20	0	0	20
		3.態度	0	0	0	0	0	0	20	20
		4.技能・表現	0	0	0	0	20	0	0	20
		5.関心・意欲	0	0	0	0	0	0	20	20
総合評価割合	0	0	0	0	60	0	40	100		
評価の要点										
評価方法	評価の実施方法と注意点									

試験	
小テスト	
レポート	
成果発表(口頭・実技)	
作品	アナログな作業は道具に慣れるまで時間がかかります、焦る必要はありませんので少しずつでも進歩が見られる作品作りを評価します。 学生の作品では基礎がしっかり押さえられていることが最も重要です。 見本作品や授業での指示を良く参考にしながら、自分のアイデアを加えた課題を高く評価します。
ポートフォリオ	
その他	実習授業では結果だけでなく、制作過程での工夫や努力などの取り組み姿勢を高く評価します。 故に、出席率は評価の重要な要素になります。 出席率50%以下は未認定。 その上で、学生それぞれの長所を活かしてのびのびと作品制作に取り組んでもらいたいと思います。

授業明細表

授業回数	学習内容	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)
第1回	基礎デザイン課題01 課題フォーマットの作成 定規の使い方 POP文字の描き方 クラス記号、氏名などの描き方 綺麗な線の描き方 作品の仕上げ ●明度グラデーションの制作	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第2回	基礎デザイン課題02 色相配色の理解と練習 カラーサークルに基づき、色相配色でカラーブロックを作る ●カラーブロックの下描き、配色シミュレーション	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第3回	基礎デザイン課題03 色相配色の理解と練習 カラーサークルに基づき、色相配色でカラーブロックを作る ●カラーブロックの着彩	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第4回	基礎デザイン課題04 『優しいの配色』 明度の高い色の作り方 ポスターカラーの混ぜ方の注意 優しい色とはどういう色か、色相、明度、彩度で答える 優しい形とはどういうものか、下描きを描く ●優しいの配色～構図の下描き～	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第5回	基礎デザイン課題05 『優しいの配色』 明度の高い色の作り方 ポスターカラーの混ぜ方の注意 優しい色とはどういう色か、色相、明度、彩度で答える 優しい形とはどういうものか、下描きを描く 優しい配色、iPadでシミュレーションする ●優しいの配色～着彩～	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad

第6回	基礎デザイン課題06 『冷たいの配色』 冷たい色とはどういう色か、色相、明度、彩度で答える 冷たい形とはどういうものか、下描きを描く ●冷たいの配色～構図の下描き～	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第7回	基礎デザイン課題07 『冷たいの配色』 冷たい色とはどういう色か、色相、明度、彩度で答える 冷たい形とはどういうものか、下描きを描く 冷たい配色、iPadでシミュレーションする ●冷たいの配色～着彩～	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第8回	基礎デザイン課題08 『動の構図』 構図で動きを表現するとは、どういうことか 構図(静止画)に動きを感じる原理とは 動きを感じる形はどんな形なのか、考えて、ラフスケッチを描く 動きを表現する5段階のステップを理解して、構図の下描きを作る ●動の構図～下描き～	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第9回	基礎デザイン課題09 『動の構図』 動きを表現するために適した配色を考える ダイナミックな配色とは 色相、明度、彩度に分けて、大きな変化を作る配色を考える 多色配色のメリットとデメリット、使い方 ●動の構図～着彩～	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第10回	基礎デザイン課題10 『線と面の構成』 20cm×20cmの正方形を、縦、横5本ずつの直線で分割する 分割した結果、変化のある、メリハリの効いた構図になること 『メリハリ』とは何か一言でいえば形、色のコントラストがメリハリを作る メリハリを感じるための分割のしかた 規則正しくとランダムの違い、役割 ●線と面の構成～下描き～	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第11回	基礎デザイン課題11 『線と面の構成』 トーン配色の考え方、トーン配色とは何か トーン配色で着彩する ●線と面の構成～着彩～	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第12回	基礎デザイン課題12 大気遠近法 透明水彩を使った淡彩の練習	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第13回	基礎デザイン課題13 空想の〇〇 空想の生物や光景を表現する、自分の想像力で作る 透明水彩	講義・実習	鉛筆、シャープペン、定規、ポスターカラー等、画材一式 iPad
第14回	基礎デザイン課題14 問題解決型授業その1 構図と構成 『解放』を表現する構図をデザインする	問題解決型授業課題	iPadで制作、提出
第15回	基礎デザイン課題15 問題解決型授業その2 構図と構成 『閉鎖』を表現する構図をデザインする	問題解決型授業課題	iPadで制作、提出